

F2-46

渋谷川周辺における渋谷川の現状からみる都市開発と自然のあり方に関する研究

Study on urban development and natural ways of thinking from the present condition of Shibuya River

○塩野侑也¹, 小木曾裕², 山崎晋²*Yuya Shiono¹, Yutaka Kogiso², Shin Yamazaki²

Abstract: A large redevelopment is currently taking place in the Shibuya. Among them, attention is gaining attention again in Shibuya River. Therefore, in this research I will unravel the history of Shibuya River and link it with the current situation. As a result it turned out to be closed with the flow of the times. I would like to conduct a survey on the consciousness of Shibuya River by carrying out questionnaire survey etc. in the future.

1. 背景と目的

現在、渋谷駅周辺で大規模な再開発事業が実施されている。その中で再び渋谷川に注目が集まっている。渋谷川はかつて童謡「春の小川」の舞台にもなった場所とされており、名のある川である。しかし戦後の急激な都市化と治水・下水事業展開により数多くの中小河川が姿を消した。昭和 20 年代以降、渋谷川沿いには小規模な機械金属工場を中心に工場地帯として活気付いていた。その中で時代の変遷と共に塞がれ暗渠化し水辺空間としての機能を失ってしまったため、今では薄暗く、人が多く集まる渋谷の中でも影をひそめてしまっている。

そこで本稿では日本の中核でもある大都市渋谷において、そこに数少なく存在する渋谷川という自然がどのような経緯で蓋をされ隠されてしまったかを歴史などの観点から紐解き現在の状況を明確にすることを目的にする。

2. 現在の渋谷川

現在の渋谷川はこのような状況になっている。再開発が進んでいるとはいえ、まだ暗いイメージがあり人通りが多いとはいえない状況にあることがわかる。現在は水が流れているため川の様子少し伺えるようになっている。



写真 1 現在の渋谷川の状況

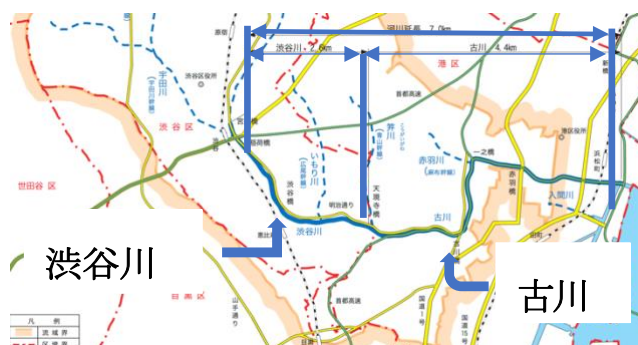


図-1 渋谷川・古川流域図 (1)

渋谷川は、古川水系の上流部、流路延長約 2.6km の 2 級河川である。JR 渋谷駅東側の宮益橋が最上部となっており、その約 200m 下流の稲荷橋から開水路となり、建物が密集する市街地を流れ、渋谷区と港区の境界である天現寺橋で下流の古川につながる (図-1)。

3. 渋谷川の変遷の経緯

渋谷川の変遷の経緯は時代の流れとともに大きく変わっている。渋谷川周辺に多くの建物が並びその中で周りの自然も削られていくことで暗渠化された。1884 年から 2000 年までの渋谷川の変遷図 (図-2) から読み取れる。渋谷駅が時代の流れに対応して多くの建物を建てたことにより川という存在がなくなってきた。渋谷駅周辺の開発という点から見ても壊して新しいものを建てるというよりは、増やしていくという意識が強いためそのことも自然の要因を妨げている原因になっていると考える。

4. 渋谷ストリームについて

渋谷駅周辺の再開発において渋谷ストリームが渋谷川復活の鍵を握っている。渋谷ストリームは高さ約 180m、地上 35 階建ての大規模複合施設で、渋谷川を挟

んで西に東急東横線の高架，東に明治通りがある.渋谷駅周辺で唯一川が地上に顔を出し，渋谷と川との深い関わりを感じさせてくれるエリアになる予定である。
(図-3)

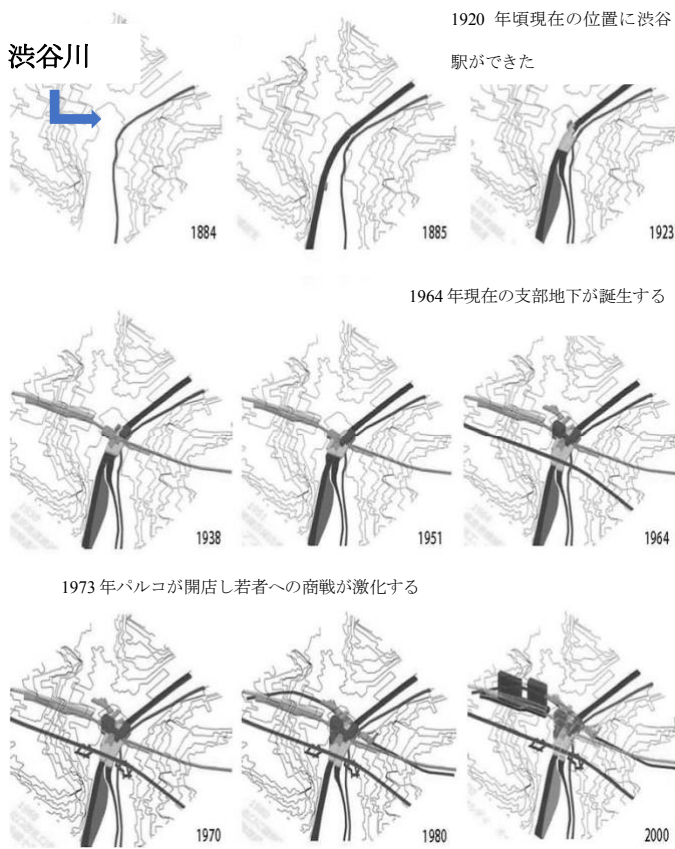


図-2 渋谷川の変遷^[2]



図-3 渋谷駅周辺開発全体図^[3]

5. 結果及び考察

1～4の現状分析を踏まえた上で実態を考察する.このような閉ざされた空間にある渋谷川では人の目につくことが少なく認知度が低いと考えられる.時代の流れとともに必然的に川という存在が忘れられてしまうことは都市化が進む上での大きな問題になっていくと考察できる.現在の渋谷川(写真1)を見てもわかるように少しずつ綺麗にはなっているが,まだ汚れが目立ち,不快な臭いがすることも現地調査から明らかになり総合的な整備が行き届いていないように考える.渋谷駅に着目すると駅の南側は開渠化されているが北側は暗渠化しているため,北側の利用者は渋谷川に注目することがなくなってきたと考察できる.

6. まとめ

今回の研究では渋谷駅の歴史や現在の状況を目視で調査したが,今後はアンケート調査等を実施し渋谷駅周辺にいる方の渋谷川の認知度やどのようなイメージを抱いているかを調査していきたい.9月中旬には渋谷ストリーム(図-4)という商業施設も完成し渋谷川の利活用事例を実際に目にする事ができるため,そこでの意識調査や活用事例,利用実態についても調査し研究を継続していきたいと考えている.渋谷川周辺で働いているオフィスワーカーや渋谷川沿いで飲食店を出している店舗にヒアリングをすることで今まで若者中心の街だった渋谷において今後の新しい見え方が見えるのではないかと考えている.



図-4 渋谷ストリームにおける渋谷川の完成予想^[3]

参考文献

- [1] 東京都建設局渋谷川・古川流域連絡会ホームページ.
- [2] 田村圭介『渋谷駅の変遷覚え書』学苑No.838(26)~(32).
- [3] 東急電鉄渋谷再開発情報サイトホームページ